

社員が災害センタースタッフ

熊本地震ボランティア参加 NIPPO

NIPPOの新社員が熊本地震の災害ボランティアに参加している。熊本市にある災害ボランティアセンターのスタッフとして、各地から集まるボランティアの受け付け、オリエンテーションなどを担当。日々、汗を流している。



同社は、これまで積極的な社会貢献活動を展開、東日本大震災ではボランティア活動に参加した。熊本地震でも当初は、ボランティアとして参加する予定だったが、ボランティアを受け入れるセンターのスタッフの需要が高かったため、スタッフとして参加した。

熊本にきたのは土木系総合職の新社員32人と東日本大震災にも参加したボランティアリーダー2人の計34人。5月下旬から今月上旬まで3班に分

新社員32人がボランティア

NIPPO

NIPPOは、社会貢献活動の一環として熊本地震に伴うボランティア活動に協力している。熊本市内の災害ボランティア

センターのスタッフとして土木系総合職の新社員を派遣。全国から集まってくるボランティアを班分けし、当日の作業の指示や資材の貸し出しなどを行っている。熊

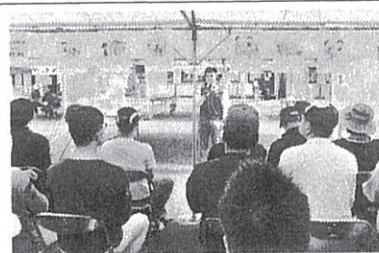
から3班に分けてNPOなどが運営する中央区と東区の災害ボランティアセンターに派遣。被災者からの依頼内容とボランティアとのマッチングを行い、ボランティアの保

険加入手続きや被災者のプライバシー保護など活動上の留意事項の説明なども行っている。写真。参加した新社員から

のに驚いている。ボランティアは初めてだが被災者の方に喜んでもらえるので頑張れる」といった声が聞かれた。

建設産業新聞

28.6.10



たがたくさんのボランティアの方に助けられた。恩返しするつもりでボランティアの方をサポートしたい」「多くのボランティアの方が集まってくれるのを円滑にマッチングするのは大変だが人の役に立つことができてうれしい」「日本全国からボランティアの方が来る

建設工業新聞

28.6.10



マッチングを行うボランティア

差配の経験、仕事に通じる

現場
から

新入社員を熊本地震の災害ボ

NIPPO
は、社会貢献
活動の一環と
して、土木系
総合職の男性

ランティアセンターに派遣し
ている。8日に現地の活動内
容を取材した。

訪れた熊本市中央区花畑町
の熊本市災害ボランティアセ
ンター本部では、引率社員の

熊本に新入社員ボランティア派遣

高橋龍之介工事部工事グルー
プ工事担当課長と新入社員6
人がスタッフとして、ボラン
ティアの受付や被災者の依頼
内容とボランティアが参加し
たい活動のマッチング、資材
の貸し出し、被災者からの依
頼受付などを行っていた。

この日は、午前8時41分に
予定していた100人のボラ
ンティアが集まり、午前9時
から、被災者宅に向かった。
同社では、熊本県山鹿市に
宿を取り、5月24日から現地
での活動を始めた。引率社員
2人の指導のもと、新入社員
32人を3班に分け、1週間ご
とに交代しながら同センター
本部と城南サテライトに分か
れて活動している。同センタ
ーを運営する熊本市社会福祉
協議会からは、「指導者が代

からのオリエンテーションに
続いてマッチングを行った。
現在は個人宅の片付けが主な
作業になっており、3〜5人
のグループが必要な資材をそ
ろえた後、市電やバス、マイ

現場を知ることの重要性学ぶ

わからないので意志の疎通が図
りやすい」と評価を得ている。
10日に終了する。

参加した新入社員は、「本
部の仕事があることを初めて
知り、ボランティアの組み立
て方が分かった。少しでも被
災者の力になればと思う」
「人前で話すことが苦手だっ
たが良い経験になった」「被
災者に寄り添うボランティア
の方々のためにスムーズに送
り出すよう心掛けています」な
どと感想を述べた。

取材に同行した松木重夫企
画部プロジェクト推進室長
は、「人を差配する業務は建
設業の仕事に通じる。ボラン
ティアの大切さ、現場を知る
ことの重要性を認識できた
と思う。技術力を磨き、この経
験を社会資本整備の仕事に生
かしてほしい」と激励した。